

2016（平成28）年度大学教育再生戦略推進費

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」

慢性の痛みに関する教育プログラムの構築

代表校：山口大学

連携大学：大阪大学、滋賀医科大学、愛知医科大学、東京慈恵会医科大学
の5大学

〈事業の概要〉

まず、5大学が中心となり、共通の教育資材、理解度確認問題を作成し、モデル授業を実施するなど、医学部卒前教育において、慢性の痛みに関する共通のカリキュラム作りを行う。各大学で実習やセミナーなど、医学部卒後教育、看護卒後教育、その他の学部の卒前卒後教育、リハビリ系教育機関の卒後教育にも取り組む。セミナーの開催や人材交流を通して地域の医療機関との連携を深め、慢性の痛みを対象とした診療システムの整備につなげる。5大学の人材交流、定期的な合同会議を通じて、それぞれの大学の教育・普及活動のノウハウを共有する。更に、それぞれの地域における慢性の痛みに関する集学的診療システムの推進にも寄与する。インターネット、公開講座、出版物など一般市民・地域社会への広報にも努める。年1回報告会を開いて、NPO法人いたみ医学研究情報センターの評価を受け、事業にフィードバックさせる。